

# ユニセフと地球のともだち



## ユニセフと地球のともだち ポイント解説

※本資料中の**太字**で示した数値は、2016年5月時点のものです。最新の数値は、日本ユニセフ協会ホームページ内「子どもと先生の広場」の「ユニセフってなあに？」のページよりご確認ください。  
[http://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/riyu/ri\\_bod.htm](http://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/riyu/ri_bod.htm)

## 歴史

《1分9秒》

### ■ユニセフの名称の由来

ユニセフ (UNICEF) は、United Nations International Children's Emergency Fund の頭文字を並べたものです。創設当初の活動であった、第二次世界大戦で被害を受けた子どもたちへの支援が一段落した1953年には、United Nations Children's Fund と正式名称を変更し、活動の中心を開発途上国の子子どもたちへの長期的な支援に移しました。正式名称は変更になりましたが、その時点で既に UNICEF の名前は広く認知されていたため、その後も UNICEF の名称で活動を続けています。

### ■ユニセフから日本への支援

第二次世界大戦後から、最初の東京オリンピックが開催された1964年まで、日本もユニセフの支援を受けていました。

当時、ユニセフから日本に送られた粉ミルクは、学校給食で子どもたちに提供され、戦後の日本の子どもの栄養状態の改善に大きく寄与しました。



## 保健・栄養

《3分2秒》

### ■5歳未満児死亡数

世界では、1年間に亡くなる5歳未満の子どもの数が**590万人**います(1990年時点で1,270万人)。これは、**約5秒に1人**、幼い子どもが亡くなっている計算になります。その死の原因の多くは、風邪による肺炎、下痢による脱水症、怪我、マラリアなどです。

また、5歳になる前に亡くなる子どものうち、**およそ半数(45%)**が、生後28日以内の新生児期に亡くなっています。

### ■ワクチンの旅

熱に弱いワクチンは、保冷庫で2℃から8℃で保管され、その低い温度のまま、子どものもとへ運ばれます。この物流システムを「コールドチェーン」と呼びます。

映像では、ワクチンはトラック、自動車、バイクで運ばれていましたが、離島には船で、車で進めない険しい道ではロバやラクダの背中に乗せて運ばれます。



### ■発育障害

世界の5歳未満の子どもの**4人に1人**が、栄養不良による発育障害に陥っています。発育障害は、子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼし、その影響は生涯にわたって続きます。

### ■上腕周囲径計測帯

二の腕の太さを測る上腕周囲径計測帯(メジャー)は、手軽に子どもたちの栄養状態を測ることができるツールです。計測帯は、緑、黄、赤の3色に色分けされており、二の腕の太さが緑色の範囲だと問題なし、黄色の範囲だと要注意、赤の範囲だと今すぐ栄養治療が必要、ということが即座に判別できるようになっています。



## 教育

《1分8秒》

### ■学校に通えない子どもたち

世界には、小学校に通えない子どもが、約**5,800万人**います。

その原因は、学校が家の近くにない、働くために学校に行く時間がない、女の子というだけで学校に通わせてもらえない、などです。

学校で字の読み書きや計算の仕方を覚えられないと、大人になってからも安定した職業に就くことが難しく、不安定な生活から抜け出すことが困難になります。

で働いています。この項目の冒頭に登場するのは、①農場で働く子ども、②石を砕く女の子、③ゴミの集積場でお金になる物を探す男の子、④鉱山で働く男の子、⑤レンガを作る子どもたちです。



## 水と衛生

《2分4秒》

### ■安全でない水の利用

世界には、安全な水を利用できない人が、**6億6,300万人**います。

安全な水が利用できない地域では、人々は安全ではない池や川などの水を利用せざるを得ず、人の生活に不可欠な水が、人の命を脅かすという皮肉な結果を生み出しています。また、水くみは多くの場合、子ども（特に女の子）たちの仕事です。遠くの池や川まで行かなくてはならず、学校に行けない子どもたちもたくさんいます。

### ■地元の人たちと協力した井戸づくり

ユニセフは、「自立」の精神を大切にしています。井戸などをつくる時も、必ず自治体や地元の人とともに作りします。なぜなら、ユニセフが井戸をつくるだけでは、井戸が故障した際に誰も直すことができず、放置されてしまうためです。また地元の人たちが、愛着を持って井戸を永く大事に使うことも期待されます。



### ■トイレの設置と利用の推進

世界には、トイレのない生活を送っている人が約**24億人**います。これは、およそ**3人に1人**の割合です。トイレを利用する習慣のない地域では、屋外に残された排泄物に付着する菌やウイルスが、水やハエ等を媒介して広がり、病気を広げる原因となります。ユニセフはトイレをつくるだけでなく、トイレの利用についての理解を促進する活動を行っています。

## 子どもを守る

《1分38秒》

### ■働く子どもたち

家計を支えるためなどの理由で働いている5歳から17歳の子どもが、世界には**1億6,800万人**います。そのうち、**8,500万人**が危険な状況の中

## 緊急支援

《2分10秒》

### ■子ども兵士

世界には、子どもの兵士が約**25万人**いると言われていています。の中には、直接的な戦闘に関わらない、料理係や伝達係なども含まれています。女の子の場合は、兵士と無理矢理結婚させられることもあります。ユニセフは、軍や武装勢力と粘り強く交渉し、解放の約束を取り付けます。兵士から解放された子どもたちは、リハビリテーション施設で心身の傷を癒やし、教育や職業訓練を受け、社会復帰を目指します。



### ■難民

紛争等を逃れるため、国外に避難する人々のことを難民と呼びます。映像は、ヨーロッパに避難するシリア難民の移動の様子です。

危険で長期間に渡る移動の果てに、ようやく目的の避難先に到着することができても、現地の人々の難民への理解の欠如や、文化・言語の違い等によって、多くの難民は避難先でも厳しい生活を強いられます。



### ■緊急支援物資の輸送

ユニセフは、デンマークのコペンハーゲンにある物資供給センターから、世界中のあらゆる緊急支援の現場に、緊急支援物資を48時間以内に届ける態勢を整えています。



### ■子どもにやさしい空間

戦争や災害等で、日常を奪われ、心の平穏を失った子どもたちが、可能な限り早く心の安定と子どもらしい生活を取り戻すことができるよう、遊びや勉強ができる「子どもにやさしい空間」を難民キャンプ等に設置しています。

